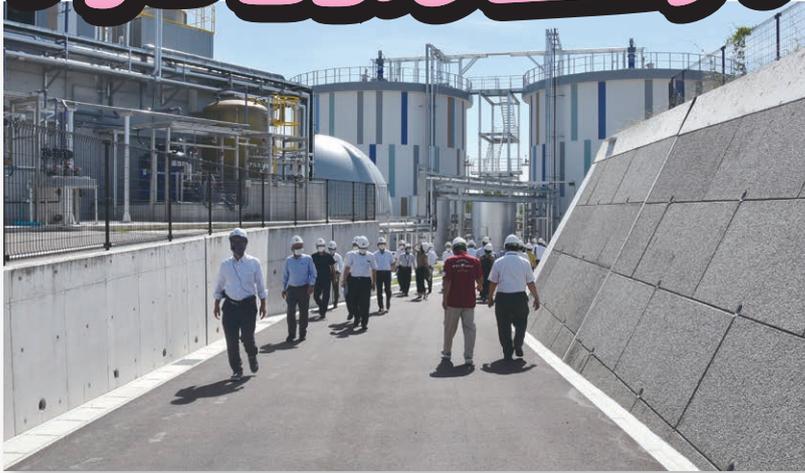




# はんだ 市議会だより



- 一般質問11人が市政を問う!
- 9月定例会審議結果
- 決算認定議案の審査より
- 議員勉強会報告

P.2~5

P.6~7

P.8~9

P.10

# 市政を問う

## 一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、8月31日、9月1日、2日に行い、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は11月25日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



志民ネット  
小栗佳仁

**市長マニフェストにある「くらしを支える強い経済」**

**問** 企業誘致はどのように進め、雇用目標3000人はどのように実現するのか伺います。

**答** 工業用地を確保し、企業誘致に向けた分譲開始時期を考慮し、産業立地セミナーなどに工業用地を出展することで多くの企業に関心を高めて頂くなか、会社訪問による情報提供も行いトップセールスも積極的に取り入れていきます。また、企業誘致により2030年までに3000人の雇用を確保していきます。

**問** 企業誘致はどのような業種を想定し、半田市の体制はどのようにして取組むのか伺います。

**答** 市内には自動車産業や航空宇宙産業など大企業が立地していますので、関連企業の誘致を考えていますが、企業情報を愛知県などから聞き取りするとともに、今後の産業構造や経済状況に注視しながら発展性がある業種を選定していきます。その体制は経済課が担い、市の関係各課と調整を図りながら取組んでいきます。

**問** 就職氷河期世代の非正規社員雇用など労働にまつわる社会問題の解決について伺います。

**答** 労働環境については、様々な問題を抱えている方がいるものと捉えていて、働きやすい環境を整えるように必要な支援を国や県へしっかりと要望していきます。また、市独自の経済活性化策を議論する「産業振興会議」を立ち上げ、労働にまつわる様々な支援について、事業者の声を聞くなかで事業化について適切に判断していきます。また、助成する場合の一定条件は、単に市から助成金を渡すということなく、事業者にも一定の負担や条件をつけるなど、市と事業者が連携して取組んでいくことを考えています。

**問** 図書館など文化施設へ行くのに便利なお金を無料化すべきではないですか。

**答** 現在、地区路線Aの中学生料金は大人と同じ100円、小学生は半額ですが、地区路線Bと同様に小学生については、来年度から無料化する考えです。

**問** 中学生の英語力および学習意欲の向上のために、英検3級以上の受験料を助成すべきではないですか。

**答** 現在は考えていません。魅力ある授業づくりに努めます。



維新・半田市民の会  
加藤美幸

**未来を担う人づくり・環境の充実と平和事業見直しへ**

**問** 小中学校の体育館へ早急にエアコンを設置すべきではないですか。

**答** 子ども達の学校活動や災害時の避難所の役割をすることから空調機器の整備は必要と考えており、検討していきます。

**問** 図書館など文化施設へ行くのに便利なお金を無料化すべきではないですか。

**答** 現在、地区路線Aの中学生料金は大人と同じ100円、小学生は半額ですが、地区路線Bと同様に小学生については、来年度から無料化する考えです。

**問** 中学生の英語力および学習意欲の向上のために、英検3級以上の受験料を助成すべきではないですか。

**答** 現在は考えていません。魅力ある授業づくりに努めます。

**問** 戦争を知らない世代が増える中、次世代に平和事業を引き継ぎ、平和な未来を担う人づくりに取組むべきと考えます。そのためには、半田市における戦争の歴史を伝え、資料など常時展示保存する場所が必要と考えます。半田赤レンガ建物の北壁に太平洋戦争時の機銃掃射の痕が生々しく残ることからも、建物内に戦争と平和を学び伝えるコーナーを設けるべきと考えますが見解を伺います。

**答** 公共施設内に新たな常設展示をする予定はありませんが、戦争を体験された方の講話を聞く小学校への出前講座を動画で保存し、ホームページに掲載することを市民団体と調整していきます。昨年、「半田の戦争記録」を要約したダイジェスト版を発行し、小中学校にも活用されるようデータ版を配信しています。今後子ども達に戦争や平和について考えるきっかけとなる事業の実施を通し、平和な未来を担う人づくりに努めます。

**問** 戦争を知らない世代が増える中、次世代に平和事業を引き継ぎ、平和な未来を担う人づくりに取組むべきと考えます。そのためには、半田市における戦争の歴史を伝え、資料など常時展示保存する場所が必要と考えます。半田赤レンガ建物の北壁に太平洋戦争時の機銃掃射の痕が生々しく残ることからも、建物内に戦争と平和を学び伝えるコーナーを設けるべきと考えますが見解を伺います。



市政を問う  
一般質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田 竹内 功治

### 小中学校の熱中症対策と不登校対策

**問** 過去3年間で熱中症による緊急搬送された児童生徒数を伺います。

**答** 平成30年度は3人、令和元年度は3人、令和2年度は2人です。

**問** 熱中症は運動部の部活動中に多いとのデータがあります。何か対策を行っていますか。

**答** 熱中症警戒アラートの発令状況や暑さ指数を参考に活動の有無を決めています。しかし暑さ指数を測る計測器の数に限りがありますので、今後は数量増を行います。

**問** 新たな対策として、小中学校の体育館にエアコンや冷風機を整備する考えはありますか。

**答** 体育館は学校活動だけでなく災害時に避難所の役割等もあるため、施設整備の更新に合わせてエアコンを整備する考えです。冷水器の整備はコロナ禍で衛生面の不安があるため、コロナが落ち着いてから検討します。

**問** リースでエアコンの整備は出来ませんか。

**答** 整備が出来るのか調査します。

**問** 来年度から中学校の制服が変更予定です。熱中症対策で体操服での通学や授業を受けられるようにしてはどうですか。

**答** 新しい制服はオールシーズンのため、各学校の判断になります。

**問** 過去3年間に不登校の児童生徒数を伺います。

**答** 小中学校の合計で、平成30年度は210人、令和元年度は237人、令和2年度は252人です。

**問** 新たな不登校対策として、不登校の児童生徒のみが通う特別校を開設してはどうですか。

**答** 現在、市で行っている適応指導教室で同様の役割を果たしていると考えています。しかし在籍人数が増加しているため、適応指導教室の拡充を行う予定です。

**問** 適応指導教室の拡充について、その詳細を教えてください。

**答** 空の科学館内にある適応指導教室に加え、10月から乙川や亀崎方面の公民館等で新たな教室を開設する予定です。また適応指導教室でも授業がオンラインで行えるように体制の整備を進めます。



チャレンジはんだ 伊藤 正興

### 家庭系ごみの現状とリサイクル

**問** 有料化後の家庭系ごみの量は、どのように変化していますか。

**答** 令和3年4月から7月の家庭系ごみの処理量は、令和元年度、2年度と比較して、約30%減少しました。また、プラスチック製容器包装等の資源類の合計収集量は、約10%増加しました。分別意識が向上し、ごみの減量、資源化の推進が図られた結果であると判断しています。

**問** 家庭系ごみ有料化がペット用のおむつやシートを除外することの再検討が必要と考えます。見解を伺います。

**答** 有料化の対象外とするごみは最小限に留め、広く市民の皆様にごみ減量に取り組んでいただきたく、ペット用のおむつやシートを有料化の対象から外す考えはありません。

**問** ゴミステーションへ多言語の案内看板の設置が必要と考えます。今後、設置を進めてもらえますか。

**答** 外国籍市民の多い地区などでは、個別に外国語の注意看板を作成して掲示している事例もあり、今後も地域の実情に即した対応をしていきます。

**問** ペットボトルキャップのリサイクルは、積極的にPRをした方がよいと考えます。見解を伺います。

**答** 市のホームページでは紹介しています。が、今後は専用ボックスに回収後の流れが分かるポスターを掲示するなど、回収の取組みが社会貢献につながることを周知していきます。

**問** 新たに使い捨てコンタクトレンズの容器リサイクルを提案します。ごみ減量化、リサイクル、社会貢献への取組みを始めませんか。

**答** 市内において実施するためには回収方法や回収後の処理方法など解決すべき課題があります。市内のコンタクトレンズ販売店では、既に容器リサイクルを実施している店舗もあるため、こうした取組みを市のホームページ等で紹介し、PR減を呼びかけていきます。



チャレンジはんだ 國弘 秀之

### 自殺のないまちづくりに向けて

**問** 心の問題を抱える方への相談支援体制の整備と周知はどのように行われていますか。

**答** 医療機関や保健所等と連携して支援体制を整備し、関係機関で情報共有、対策を推進しています。周知については、市報やホームページへの掲載、自殺予防の啓発資材等を配布し周知を図っています。

**問** 自殺の兆候がある方への支援方法はどのような方法がありますか。

**答** 状況を聞き取る中で問題の解決に向けた支援に繋がります。

**問** 自殺未遂をした方への支援や家族が不安に思う時の対応はどのように行われていますか。

**答** 自殺未遂をした方は、その後の自殺の危険性が高くなるため、継続的な支援が必要となるので、情報の共有や整理を図り支援できる体制を整えています。

**問** ストレスチェックや心の保健室の効果をどのように評価しますか。

**答** ストレスチェックや心の保健室をきっかけに問題解決に繋がるなど支援の入口になっていることから今後も窓口として継続していきます。

**問** 自殺死亡率の数値目標に向け、どのように取り組めますか。

**答** 各種対策事業を推進する事で目標の達成を目指していきます。

**問** 児童生徒の自殺対策について、心の健康問題を、どのように把握していますか。

**答** 個別に相談を受けた実施する中で定期的に情報交換を行い、チームとして対応しています。

**問** 児童生徒へのSOSの出し方についての教育はどのようにですか。

**答** 各種相談窓口を紹介し、リーフレット等を配布し、保護者の声掛けや見守りの大切さを伝えていきます。

**問** 自殺の兆候が見られた場合の対応はどのようにしていますか。

**答** 教職員が速やかに本人に寄り添い保護者や教職員、スクールカウンセラーなどと情報共有し医療機関などに繋げるなどの対応を行います。





チャレンジはんだ 水野尚美

### 医療的ケア児と家族支援

**問** 医療的ケア児（ケア児）の成長に合わせて継続的な支援が必要と考えますがどのような仕組みになっていますか。

**答** ケア児の支援を調整するコーディネーターを医療と福祉の分野に2名ずつ配置し、ケース検討会議の方針に基づき、児童の発達段階に応じた支援を関係機関で連携して行っています。

**問** ケア児が就園、就学の時期において、家族の付き添いがなくても適切な支援を受けられるにはどのような仕組みが必要と考えますか。また、地元の園や学校に通うことを望むケア児を受け入れることは可能ですか。

**答** 適切な対応をするためには、各施設に常時配置する看護師及び介助員とともに、各施設に派遣、巡回するための定時配置の看護師が必要で、一医療的ケア児支援法の一の趣旨を踏まえ前向きに取り組めます。また、地元の園や学校に通うこ

とを望むケア児や保護者に対しては、個々のニーズや子どもの成長に応じた支援体制を確立し対応していきます。

**問** 幼い頃から多様性を理解するために、障がいのある無に関わらず共に学び育ちあう環境を整えることが大切だと思いますが考えを伺います。

**答** 共生社会の形成、多様な性の尊重を育む教育の推進は重要と考えます。全ての児童生徒が分け隔てなく育ちあう学びあう意識の醸成と環境の整備に取り組めます。

**問** ケア児と家族の状況に合わせた切れ目のない支援を行うために、保健、医療、福祉、保育、教育等の連携は必須と考えますが、庁内連携はどのようなですか。

**答** ケア児に対する教育、保育の保障に係る検討会を庁内関係各課で立ち上げ協議を重ねています。課題はありますが、解決方法はスピード感をもって立てていきます。

**問** 市長はどの子も幸せになる権利があると明言されていますが、ケア児と家族の幸せをどのように考えていますか。

**答** 全ての市民を幸せにする努力をします。



維新・半田市民の会 中川健一

### 市長の選挙公約、緊急コロナ対策は4項目中3項目が未実施

**問** コロナ禍で職を失った方を臨時雇用します、との公約についてです。市長就任後から8月19日までの間に、新たに何人、どのような待遇、どのような仕事に雇いましたか。

**答** わーくりい知多への加入状況等から、コロナ禍により職を失った市民がいると認識はしています。しかし市長就任後から8月19日までの間で、コロナ対策として市への臨時雇用の実績はありません。

**問** 自宅にこもりがちなる高齢者の健康ケアを促進します、と言う公約についてです。前段同様に、コロナ禍で自宅にこもりがちなる高齢者を新たに何人、どのように支援をされましたか。予算はいくらかかりましたか。

**答** 令和元年度に実施した「健康とくらしの調査」より、自宅に閉じこもりがちなる市民は770人程度いると推計していま

す。しかし市長就任後から8月19日までに新たに予算を使つての公約実施の取組みはありません。

**問** コロナとの共存を前に、市民活動・経済活動を行うための支援をします、との公約についてです。前段同様に、新たにいくつの市民活動団体に対し、どのようなコロナ対策支援を行いましたか。予算はいくらかかりましたか。

**答** 市民活動支援センターに登録がある市民団体は169あります。しかし市長選挙後に市民団体への新たなコロナ対策支援は実施していません。

**問** これら3つの選挙公約は、緊急対策とのことでしたので、当然実施済みと考えていたのですが、また内容も実行するのが妥当と考えます。市長就任後90日を過ぎて3つの選挙公約を実行しなかった理由は何かですか。

**答** それらの選挙公約は4月中に考え、5月上旬に公表したものです。6月の市長就任後はまん延防止状況も一旦終息しました。社会状況が変わつたため、選挙公約の実行を取りやめたものです。



創造みらい半田 岩田玲子

### 子宮頸がんを予防する

**問** 子宮頸がんや、子宮頸がんになる前の、前がん病変の予防には、子宮頸がんのワクチン接種が重要と考えます。令和2年10月、厚生労働省の方針により、対象者にワクチン接種を検討、判断するための情報提供を行うよう変更となりました。情報提供後の接種数はどのように変化しましたか。

**答** 令和元年度のワクチン接種者は延べ13人から、令和2年度には延べ15人、10倍以上の接種となりました。

**問** 任意で接種を行う場合、3回の接種で5万円弱かかります。情報不足で接種対象期間に接種できなかった方に対して、市独自の補助を行う考えはありますか。

**答** 接種対象期間後に接種した場合は、任意の予防接種となり、全額自己負担となるため、市独自の補助を行う考えはありません。



**問** 現在成人している女性でも、ワクチン接種により、将来の子宮頸がん、前がん病変を予防できます。半田市の全ての女性に情報提供され、自己判断、選択できる機会を設けて頂きたいと考えますが、いかがでしょうか。

**答** ワクチン接種を自己選択していただけるよう、準備が出来次第、市ホームページ等を通じて周知を図ってまいります。なお、子宮頸がんは、前がん病変の段階で早期発見や早期治療が可能であることから、子宮頸がん検診を定期的に行うことの重要性も併せて周知してまいります。

**問** 現在はいくつかの年齢の小学6年生から高校1年生のうち、高校1年生の保護者宛てに個別通知による情報提供がされているとのことですが、今後、全ての対象年齢の方に、情報提供して頂けたらと考えますが、いかがですか。

**答** 保健センターだよりに掲載、学校を通じて、全ての対象者に情報提供していく準備をしています。



志民ネット 中村和也

交通渋滞の解消策

問 衣浦大橋の渋滞緩和策、周辺の安全対策の現状と今後の計画を教えてください。

答 建設中の左折レーンに橋桁を載せる工事に着手する予定で、早期の供用開始を目指し、整備を進めています。亀崎1丁目交差点の信号サイクルについて、半田市としても改良したいと考えています。令和元年に愛知県が実施した交通量調査の結果を半田市独自でも分析し、警察とも連携して進めています。

問 衣浦大橋の架け替え通しを教えてください。

答 衣浦大橋は、南側の橋と北側の昭和31年に供用開始されたトラス橋からなっています。北側のトラス橋は古いうえ、幅員が狭く危険です。昨年度から、予備設計に着手しています。今後は、左折レーン橋の完成後、速やかに架け替え工事に着手していただけるように引き続き愛知県

に要望していきます。

問 衣浦トンネルの料金の低廉化、ETC設置について現状の課題と見通しを教えてください。

答 昨年度末時点で、整備費用の未償還金が約65億円残っており、今後も修繕費の増加が見込まれるため、現時点での低料金は難しいとの回答を愛知県からいただいています。ETCは、設備投資に加え、モニター監視員など必要になることから経営収支を悪化させる恐れがあるため導入に慎重です。しかし、この地域にとって欠かさない施設であるため、碧南市や近隣市町と協力し、愛知県との話し合いを継続していきます。

子どもたちの健全育成

問 子どもたちを被害者・加害者にさせない。そして罪を犯させない。犯罪に巻き込まれないためにネットパトロールを実施すべきと思いますが今後の計画を教えてください。

答 情報モラル教育とともに、導入に向けて、より効果の高い監視方法を調査研究していきます。



公明党 坂井美穂

がん対策の着実な推進

問 多くの患者と市民ががんを知り、がんを克服するために、愛知県が毎年作成する「あいちのがんサポートブック」を有効に活用してはどうか。

答 積極的に活用し、保健センターと半田病院がしっかりと連携しながら、情報周知に努めます。

問 がんになっても働き続けられるよう、商工会議所から会員企業へ「両立支援」を普及啓発していただくなど、市として環境づくりに取り組むべきではありませんか。

答 商工会議所と情報交換を行うとともに、市ホームページに厚生労働省が策定した「両立支援」のガイドラインを掲載し、情報提供します。

問 特にサポートが必要なものとして、AYA世代（15〜39歳）のがん患者に対する教育、就労、生殖機能の温存等の情報提供を半田市として行い、不安や困りごとの解決に繋げる

べきと考えますが、見解を伺います。

答 「愛知県がん患者支援事業」やがんの相談ページに掲載し、必要の方が速やかに把握できる環境を整え、支援します。

問 治療に伴う外見の変化に対するケア（ヘアランスケア）をどのように捉えていますか。

答 脱毛をはじめとする外見の変化により、精神的な負担を抱える方も多く、必要なものと捉えています。

問 半田市においても、ウィッグや胸部補正具購入費用の支援が必要であると考えますが、いかがですか。

答 愛知県の補助制度の立ち上げの動向を注視し、制度化について検討します。

問 小中学校での効果的ながん教育を実施するために、専門性の高い外部講師の活用と動画活用を含めた半田市独自のがん教育パッケージを作成してはどうですか。

答 保健センターや半田病院と連携し、各校100%外部講師を活用しながらがん教育を行えるよう努めます。



無所属 鈴木健一

新型コロナウイルス感染症拡大防止

問 半田市において新型コロナウイルスの人数などは明らかに増えていますか。

答 半田市のホームページに掲載しています。今のままでは、自宅待機している市民に対して支援できないのではありませんか。

問 保健所が病状の確認などを行っている間、保健所から、半田市の事業を伝えて貰う事で、本人から連絡して頂く仕組みになっていますか。

答 保健師と保健センターの連携はどうなっていますか。

問 愛知県へ市内陽性者に関する努力の結果はどうなりましたか。

答 各種法令で個人情報保護は保護されています。災害などの避難所開設時には感染防止のため、連絡先等の情報が愛知県より半田市へ提供されます。

問 自宅療養者への生活をフォローする仕組みが必要だと考えますがどうですか。

答 買い物支援を令和2年3月から始めています。

問 半田市として、療養施設を作る考えはありますか。

答 感染症法に基づき、愛知県が設置する事となっています。

問 知多半島に一つは必要ではありませんか。要望・要請するべきではありませんか。

答 市民の安全を守るために近くにあると良いのは同じ考えです。

問 市内の陽性者を見つけるためのPCR検査が必要だと考えますがどうですか。

答 PCR検査はあくまで一過性のものであり、無症状の陽性者を見つける手段として検査を行う考えはありません。

同性パートナーの権利の保障

問 同性パートナーの権利を保障するための制度が必要ではありませんか。

答 第3次男女共同参画推進計画で導入に取組んでいきます。



市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）

# 審 議 結 果

令和3年第7回定例会(8月31日~9月29日)  
( ) 内は議案の補足説明です。

## ■全会一致の案件

| 議案<br>番号等 | 議案名  |
|-----------|--|
| 議案57      | 令和3年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号<br>(令和2年度の特定健康診査等負担金分など交付金額が確定し、超過交付分を国・県等へ返還するもの)     |
| 議案58      | 令和3年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号<br>(令和2年度の地域支援事業の交付金額が確定し、超過交付分を国・県・社会保険診療報酬支払基金へ返還するもの) |
| 議案59      | 令和3年度半田市立半田病院事業会計補正予算第2号<br>(半田病院の整備のための寄付金(48万2千円))                               |
| 議案60      | 半田市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について<br>(愛知県最低賃金の引上げによる条例の一部改正)               |
| 議案61      | 半田市個人情報保護条例の一部改正について<br>(「番号法」の「特定個人情報の提供の制限」について、追加改正された事により改めるもの)                |
| 議案63      | 半田市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部改正について<br>(知多南部広域環境センターにおいて試運転を実施することなど)                     |
| 議案64      | 知多南部広域環境組合規約の変更について<br>(支弁の方法及び試運転期間における共同処理事務の見直しに伴うもの)                           |
| 議案65      | 岩滑公民館改築工事請負契約の締結について<br>(改築工事について、工事請負契約を締結するもの)                                   |
| 議案66      | 半田福祉ふれあいプールの指定管理者の指定について   |
| 議案67      | 青山記念武道館の指定管理者の指定について   |
| 議案68      | 半田空の科学館及び半田市体育館の指定管理者の指定について   |
| 議案69      | 令和2年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について<br>(未処分利益剰余金を自己資本へ組み入れるなど)                           |
| 議案70      | 令和2年度半田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について<br>(未処分利益剰余金を自己資本へ組み入れるなど)                          |
| 議案73      | 半田市教育委員会教育長の任命について<br>(任期満了に伴い引き続き鈴木慶光氏とするもの)                                      |
| 認定 1      | 令和2年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について  |
| 認定 1      | 令和2年度半田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について   |
| 認定 1      | 令和2年度半田市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について   |
| 認定 1      | 令和2年度半田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について  |
| 認定 1      | 令和2年度半田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について  |
| 認定 1      | 令和2年度半田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について   |
| 認定3       | 令和2年度半田市水道事業会計決算の認定について  |
| 認定4       | 令和2年度半田市下水道事業会計決算の認定について   |



# 決算認定議案の審査より

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定案の審査を行い、いずれも認定されました。  
委員会でどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

## 総務委員会

**問** 法人市民税は前年度比11.1%の減収となり、新型コロナウイルス対策を講じながら税収減への対応をどのように考えていますか。

**答** 半田市の産業構造は多岐に渡っており、他市のように危機的状況に陥るほどの税収減は見込んでいません。地元企業を大切にしながら経済活性化に取り組んでいきます。

### 公共交通対策事業

**問** 「亀崎・有脇線」についてはコロナ以前から利用が低く、さらに減少の結果となりました。多額の市費を投入し維持することについてどのように考えていますか。

**答** 利用促進を図りつつ、移動手段としての需要を見極め、バスの継続、異なる手段の模索など、検討が必要であると考えています。

### ふるさと納税事業

**問** 成果が上がっている一方で、寄附額と半田市の市民税が控除された額の差し引きが約2億円という結果であり、組織的な課題があると感じますがどのように考えていますか。

**答** 魅力ある返礼品やPR方法等の問題であり、組織の問題ではないと考えています。全庁的にアイデアを出し合える仕組みを考えていきます。

### ICTを活用したまちづくり推進事業

**問** 半田市としてどのようにオープンデータを充実させ、市民サービスの向上を図りますか。

**答** 市として、出せる数値はオープンにすることで、事業者を含め多くの市民に活用していただけるよう、今後でもできる限り積極的に公表していきます。

### 半田市立半田病院事業

**問** 患者サポートセンターの取組みについて、その成果をどのように分析していますか。

**答** 情報を共有し、看護師、ケースワーカー、臨床心理士等によるチーム医療が可能であること、また、患者さんが相談しやすい体制が整備され、不安が軽減されることなどが成果と捉えています。

【総務委員会 決算審査の様子】



## 文教厚生委員会

### 地域福祉推進事業

**問** ふくし井戸端会議について、参加者の減少や固定化といった課題の解決に向けてどのように取り組みましたか。

**答** これまでは各地域において会議を開催することで実施していましたが、各地域の集會等に職員が出向く方法へ変更しました。そのことにより、参加者の減少や固定化の課題の解決につながると考えています。

### いじめ・不登校対策事業

**問** 不登校児童・生徒数が増加傾向にあることについて、どのように考えていますか。

**答** 学校に来てもらうのが最善であるとは考えていますが近年では「必ずしも学校に通う必要はない」という価値観が社会的にも認められているため、様々な形で「子どもの学びを保証する場」が提供できるような環境を整えたいと考えています。

### コミュニティ・スクール推進事業

**問** 学校によって取組み具合に差があると思いますが、改善に向けてどのように取り組みましたか。

**答** 各学校が他校での取組みを把握していないことが原因であると考え、情報交換会を実施し、各学校での取組みや抱えている課題について情報交換を行いました。

[文教厚生委員会 決算審査の様子]



学校給食調理委託事業

**問** 異物混入の件数が前年度と比べて増加しています。異物混入を防ぐための対策と、委託業者への指導はどのように行っていますか。

**答** 目視による確認以外に方法がないため、調理時に使用する手袋を目立つ色にすることで混入物を発見しやすくするなどの工夫をしています。委託業者に対しては、かねてより厳しく指導していますが、契約内容も含め、より強力な管理体制となるよう見直します。

保健衛生普及事業

**問** ピロリ菌検査事業及び歯周病検診について、受診率向上のためにどのような取り組みをしたか。

**答** 対象者へ発送する案内をナッジ理論を活用した内容に変更し、未受診の方には、再度、はがきや電話などで受診勧奨を実施しました。また、はんだ健康マイレージ事業において加点の対象となるなど、受診意欲の向上につながる取組みを行いました。

建設産業委員会

環境保全事業

**問** 生活環境の保全に関する環境基準を準用する河川の中で、BODが基準値を超える河川は、問題はないですか。

**答** BODは、水質評価基準の代表的なもので、人体に対して有害な成分の有無を示す指標ではありません。人体に対する有害な成分の有無は、人の健康の保護に関する環境基準に基づき、別途調査を行っており、基準を満たしています。そのため、BODが基準値を超えていても、人体への問題はありません。

就農者支援事業

**問** 半田市の就農者支援を行う最終的な目的は何ですか。農業の現状を維持しつつ、離農者が手放した農地は、耕作放棄地になる前に新規就農者に斡旋することで、耕作放棄地を増やさないこと、また、農地を意欲ある担い手や新規就農者に集積・集約することで、耕作面積を増やし、収益力を高め、安定した農業経営に繋げることが目的です。

**答** 尾州早すしの認知度を向上させる目的は何ですか。  
ミツカン創業時の粕酢の歴史ストーリーを活用し、尾州早すしを本市の寿司の象徴的存在としてPRすることで、寿司のまち半田を売り出していくためです。

**問** 学校指定通学路の整備はどのように進めますか。

**答** 法定通学路の整備が、令和2年度で完了したため、令和3年度より30人から39人が通行する学校指定通学路を順次整備を進め、令和7年度に完了する予定です。

道路舗装事業

**問** 工事施工業者の指名業者の選定基準はどのようにですか。

**答** 業者選定にあたっては、市内業者で施工できるものに関しては、できる限り市内業者が受注できるよう配慮したうえで、受注機会や地域性を考慮し、業者を選定しています。

[建設産業委員会 決算審査の様子]



決算審査に係る 反対討論

中川健一議員

- ① 失敗しても市長をはじめ誰も責任を取らない無責任体制。
- ② 独善的な取組み、夜郎自大な考えが横行する組織文化。
- ③ 計画と実績の乖離を放置、PDCAを掲げてもやっていない。そんな仕事ぶり。
- ④ 全体戦略形成の弱さ、部課別タコつば型戦いに終始。

鈴木健一議員

一般会計決算の反対理由として、リニア中央新幹線期成同盟会からの脱退を求める事、個人情報保護を危険にさらす個人番号カード交付事業、知多地区地方税滞納整理機構の解散を求める事を大きな理由として反対の立場を取りました。病院会計については、コロナ禍で大変な思いをしながらも働いてくれている職員の給与を引き下げたため反対です。

# 議員勉強会を開催しました

**開催日** 10月6日(水)

**場所** ビオぐるファクトリーHANDA

**講師** (株)ビオクラシックス半田 執行役員事業本部長 いかいゆきてる 猪飼幸輝氏

**テーマ** 半田市バイオマス産業都市構想について

半田市議会では、講師を招いての議員勉強会を年2回開催しており、今年度1回目は10月1日から稼働している「ビオぐるファクトリーHANDA」に伺い、施設見学と地産地消エネルギーの有効活用についてのお話を聞くことができました。

この施設では、地元から発生した畜産系・食品系のバイオマス資源を利用したバイオガス発電と、その排熱・排ガスを利用することで循環型社会の形成、農業の振興、畜産臭気の低減に向けた取り組みを行い、地域の課題を解決する一助にしたいとのことでした。

半田市の目標である2050年までにCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ、持続可能なエネルギーと経済の市内循環については、議会としても学ぶことが多く、有意義な勉強会となりました。



## 今後の本会議の開催予定

**12月定例会の日程 12月7日(火)から12月17日(金)**

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

### あとがき

岸田首相には、新型コロナ対策を速やかに考察実行し、リーダーシップを持って「日本丸」の舵取りに努めていただくことを望みます。

9月定例会は、緊急事態宣言の長い歴史の市議会でも、初めての本会議場における議員の人数抑制を行い、退席者は別室で傍聴という形を取りました。

新型コロナ禍であるからこそ、私たち議員は、原点に帰り、市民一人一人に寄り添い、市民目線での政をまもるとしなくてはいけないと考える日々であります。

### 広報委員会

委員長 小出 義一  
副委員長 鈴木 健一  
委員 嶋崎 昌弘 / 山田 清一  
中川 健一 / 澤田 勝

### 編集・発行 半田市議会

〒475-8666

半田市東洋町2-1

TEL 0569-84-0694

FAX 0569-24-7185

E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは機読ソフトウェアの登録商標です。

半田市議会へ